



ミズイボできた

- ミズイボは、コリコリとした「けし粒」のようなイボです。原因はポックスウイルスです。皮膚と皮膚をくっつけあうことによって感染します。
 - 気をつけてみると、子どもは誰でも少しは持っています。かきむしらなければ、そんなに広がるものではないのですが、アトピー性皮膚炎などがあると、またたく間に広がってしまうことがあります。
 - ミズイボは長い目で見てみると、数ヶ月から数年の間（平均 11 ヶ月）に自然と消えてしまいます。
 - ミズイボに細菌が感染しておできになったり、とびひになったりしたときには、治療が必要です。
 - ミズイボで一番問題になるのは、保育園や幼稚園でプールが始まった時の対処のしかたです。
 - ミズイボのウイルスはプールの水を介して感染することはありません。学校にあるような大きなプールではビート板や浮き輪の共用をさければ、感染が広がることを防げます。
 - しかし、保育園や幼稚園でのプール遊びは、園児どうしが肌を直接触れあう機会が多いので、感染する可能性があります。プールの時期に「ミズイボをとるように」という通達にも一理はあります。
 - しかし、ミズイボは子どもの誰もが持っている、ミズイボはいつか消える、プールだけを制限しても感染を防ぐことはできない、ことも事実です。
- 「ミズイボがあってもプールで遊んでいいよ」と、おおらかな園だといいですね。

ミズイボを取るか取らないか

- さあ、取りましょうか！
- さっさと治してしまいたい
- うちの子はがまん強い
- まだ、少ししかできていない。 プールへ入れてもらえない。



こどもクリニックではピンセットで取ります。1 時間前に表面麻酔シールを貼っておくと痛みが少なくて済みます。

- ほおっておきましょう！
- 待てば、いつかは消える 痛くてかわいそう
- 取ってもすぐ出来る うちの子は弱虫
- たくさん出来ていて体が血だらけになりそう。
- アトピーや湿疹がひどい。
- 医者と子どもの関係が気まずくなるのがいやだ。

ミズイボをひろげないために

- かきむしらない。
- 皮膚の保湿、スキンケア、感染予防
- はと麦の錠剤（ヨクイニン）を根気よく飲む。